

# 県民を守る治山

森林が危険な裏山から民家を守ります。埼玉では県民のくらしを守るため、各地で山腹工事や溪間工事、地すべり防止工事などの事業を進めています。



土砂流出や山くずれなどで荒廃地となったところは、ただちに復旧工事に取りかかります。危険な土砂を取り除き、被災地を整備。そして復旧のためのプランを立てます。治山職員が力をあわせて復旧工事に取り組むのです。



白久 昭和51年度 荒川村白久



二瀬 昭和55年度 大滝村大滝



埼玉のあすを担う子供たち(県民の森)



土砂くずれを起こした駅の裏山も緑の山に完全復旧。電車に乗り降りする人びとの安全を確保します。



富士山 昭和49年度 荒川村日野



「治山ダムができてどんなに雨が降っても安心してねむれます」と語る村びと。視察に来た治山職員との話はずみずみ。境沢 昭和47年度 大滝村大滝



小学校を守る落石防止柵。子供たちは安心して勉強にスポーツに励むことができます。坂本 昭和52年度 東秩父村坂本



森林を復旧し、通行する人びとを災害から守る山腹工事。空から見ると復旧の様子がよくわかります。苅場坂 昭和43～51年度 飯能市北川

# 予防治山

私たちの県は、最近大きな山地災害を受けていません。しかし緑豊かな山も大雨や台風などでいつくずれてしまうかわかりません。そこでこうした荒廃を未然に防ぐための予防治山を、積極的に推進しています。



穴沢 大正2年度 名栗村上名栗



逆川 昭和44年度 名栗村下名栗



大洞 昭和54年度 大滝村三峰



大洞 昭和51~55年度 大滝村三峰

# 集落保全総合治山

施工前



施工後



大血川 昭和52年度 大滝村大滝

施工前



施工後



栗和田 昭和53年度 東秩父村坂本

山腹の崩壊、土砂の流出などにより被害を受けるおそれのある集落に対して、総合的に治山工事を行います。



奥沢  
昭和54～56年度  
東秩父村奥沢